

父に日に、子ども達から手作りのプレゼントをたくさん貰いました。



# おひやり

No.378

令和6年7月10日発行  
社会福祉法人円福会  
円福寺愛育園  
園長 藤本光世

## 嘘

園長 藤本光世

ひょんなことから、李栄薫編著「反日種族主義 日韓危機の根源」（文芸春秋）と、関連する書籍を読むことができました。

私にとって韓国は、なんとなく訳が分からない国でした。危ない国、そんなイメージで「LINE」は遠ざけています。（私は保護司をしているのですが、対象者が面接の時に、アイフォーンに「LINE」アイコンを入れてしまいました。いろいろなことがあってもそれで三年間の最後まで連絡が取れたのですけれど…）

ところが、この書は韓国人の著者が今の韓国を「国が滅びてしまう…亡国の予感」と憂いて、反日種族主義者からの強烈な抵抗と罵倒を覚悟して書いたのです。その後、第二弾の「反日種族主義との闘争 私たちは批判にこたえる。そして反論する」も出版したのです。すごいですね。

「わけのわからない国」「なんだかわからないけれど何をとっても反日の国」そして「亡国の予感がする国」の理由は何でしょうか。

それは「嘘つきの国」だからなのです。

プロローグに並んだいくつかの見出しを書きましょう。

嘘をつく国民

嘘をつく政治

嘘つきの学問

嘘の裁判

反日種族主義

「反日種族主義」に次のようにあります。（23p）

嘘が作られ拡散し、やがて文化となり、政治と司法を支配するに至った過ぎにし六〇年間の精神史を、なんと説明したらよいのでしょうか。人が嘘をつくのは、知的弁別力が低く、それに対する羞恥心が無い社会では、嘘による利益が大きいからです。嘘をついても社会がそれに対して

寛大であれば、嘘をつくことは集団の文化として広がっていきます。ある社会が嘘について寛大だと、その社会の底辺には、それに相応する集団の心性が長期にわたって流れるようになります。その流れているものは、一言で物質主義です。お金と地位こそが全ての幸福の根本だという価値観、お金と地位のためなら手段、方法を選ばない行動原理、これが物質主義です。物質主義の文化は嘘に対して寛大です。詳しくは紹介しませんが、韓国社会が物質主義なのは、すでに様々な研究者がいろいろな指標を通して指摘しているところです。

さらに長期的かつ巨視的に物質主義の根本を追求して行くと、韓国の歴史と共に長い歴史を持つシャーマニズムにぶつかります。シャーマニズムの世界には善と悪を審判する絶対者、神は存在しません。シャーマニズムの現実丸裸の物質主義と肉体主義です。シャーマニズムの集団は種族や部族です。種族は隣人を悪の種族ともみなします。客観的議論が許容されない不変の敵対感情です。ここでは嘘が善として奨励されます。嘘は種族を結束させるトーテムの役割を果たします。韓国人の精神文化は、大きく言ってこのようなシャーマニズムに緊縛されています。より正確に表現すると反日種族主義と言えます。

翻って今の日本を見たらどうでしょうか。

嘘は、人間同士の信頼をなくし、社会を混乱させます。振り込め詐欺で、嘘について人を騙すことが拡大し蔓延しています。毎日メールを開くと、嘘で固められた迷惑メールのオンパレードです。あの手この手で、人を騙して金を奪おうとしています。ひどいものです。昔は横田地区の家は鍵をかけなくても、泥棒はいませんでした。お盆のお棚経では、農業が忙しくて留守の家はお座敷側の縁側の戸を開けて、和尚さんがおまいりしてくださるように、心を配ってありました。今は、鍵をかけることが奨励されて、開けておけば誰かが盗んでいくだろうと、通る人を疑いの目で見ています。

日本人は、嘘をつかないことを人の美德、価値、信用、信頼、成功の道としていました。松代藩の財政改革をした恩田柰は、六代藩主幸弘から財政改革の厳命を受けて松代に戻ると、直ちに家族郎党を集めて、妻は離縁、子は勘当、家来は暇を出すと告げたのです。驚いて、泣いて理由を聞く妻に、「私は松代藩の財政改革をするために『今後一切嘘をつかない』ことを藩中に宣言する。しかし、身内が嘘をついたのでは、誰からも信用されない。だから、全員に暇を出す。」と話して聞かせたのです。皆、「今後私達も絶対に嘘は言いません」と約束して、許してもらったのです。

このことがあって、恩田柰の財政改革は成功し、山本七平が「日本人とユダヤ人」の中で絶賛したように、日本人の経営の鏡とされ、米沢藩の上杉鷹山の財政改革にも匹敵し、幕末には佐久間象山を輩出して、日本の将来にも大きな影響を及ぼしたのです。

30年ほど前に富山県の御三家と言われる進学校の富山中部高校で進路指導をされた長谷川了一先生は『厳しい指導』について次のように書かれています。(学校づくりと教育実践「生徒を育て、教師を鍛える」)『厳しい指導とは、生徒に対しては、いったん言い出したことは実行するまで指導し尽くすことをいう。一方においては、教師自らへの厳しさを持つことを求めることをいう。』と。「言い出したことは実行するまで指導し尽くす」は生徒に嘘を言わないということです。『嘘を言わない』とは自分自身に厳しさを持つことなのです。このことを学年団に徹底したことにより『安逸さ、手抜き、厳しさの不足、貧弱な実践、「自主性」の名によるわがまま勝手な「実践」』などにより教育の質が低下した富山中部高校を立て直し、素晴らしい実績を残したのです。

先日、一時保護中の児童を児相が連れてきて面接しました。彼はこれまではそんな子ではなかったのに、差別発言を注意されたことときっかけに、自分の非を認められず、面接時の甘言に乗って園をとび出して児相に駆け込んでしまったのです。2カ月以上の一時保護を経て(その間学校へ行っていません)面接になったのです。

私が一番聞きたかったのは、飛び出し時の差別発言を認めるかであり、謝罪する気持ちがあるかでした。ところが、それはのりくらりとごまかすのです。面接中はずっと下を見続けて、私を見ることができません。

その時、なんと引率してきた児相の2名の職員は嘘の方<sup>かた</sup>を持ったのです。こんなに話しているんだから、認めてやれと、子どもと一緒にこちらを責めてくるのです。いったいこれは何なのでしょう。嘘を奨励しているのでしょうか。嘘でもなんでも言いさえすればいいから、大人はそれを認めなさいというのでしょうか。私はフランスの大泥棒の話を児相との会議で話しました。リンゴを盗んだことを、そのくらいいいやと母親が許したことが、大泥棒となり引き回しの上ギロチンにかけられたのです。

小さなことでも絶対に嘘を許してはいけません。そして嘘を許さないとは、「自分に厳しさを持つこと」なのです。

「こども真ん中」と言いながら「自分に厳しさを持つ」ことをしないで、子どもの言うがままになって、嘘を奨励するとはいったいどういうことなのでしょう。嘘をしっかりと叱ってもらえず、不幸に陥ることが見えている子どもが可愛そうです。

## 臨海学習に向けての意気込み

主任指導員 T・M

今月の7月15日に、磯採集や海遊びを目的に園全体で鯨波海水浴場に行きます。今年で3回目となり、徐々に毎年の恒例行事になりつつある臨海学習ですが、もともとのきっかけがあり

ます。それは、日頃から、休みの日に野山を駆け回り、川遊びや生き物採集に夢中になっている子ども達や職員の姿を見て、園長先生が、山や川だけでなく海に連れて行ってあげたら、きっと大喜びするぞ!と発案してくれた事です。海は事故やケガなどトラブルの心配が大きいので、ずっと敬遠されてきましたが、園長先生自ら発案して下さいました。当時、それ程に日頃の外遊びで子ども達がイキイキと夢中になって、心をスッキリさせたり、職員と心を通わせている様子が見られ、それらが落ち着いた毎日に繋がっていました。子ども達が良くなっていく事を子ども達自身の行動で証明してくれた事に、とっっても嬉しい気持ちになった事を今でも覚えています。また、初めて臨海学習の行事を伝えられた時の、子ども達の驚いて絶句からの歓喜の様子も忘れられません。またまた、前日、中高生にもなる子たちが楽しみすぎて下に水着を着込んで夜8時には「お休みなさい」といって寝てしまった事も忘れられません。



私はこういう事こそが子どもの養育の礎ではないかと思います。好奇心や興味を引き出す事はもちろんですが、人の心を動かすような子ども達自身による自発的な行動や努力から希望を見出して、さらにそれが報われた時の多幸感を体験する事は本当の自己肯定感と自立に向けた大きな前進に繋がります。自発的な行動が生まれ

るまでには、愛着や依存や自信など様々な問題に直面します。これは仕方のない事です。しかし、問題はそれらに対して何でもかんでも助け船を出したり、あるいは子ども任せにしてしまう事です。愛育園では、「子ども達と思い切り遊ぶ事」と同時進行で「(寄り添って)待つ」という事を大切にしています。そういう中で、自分自身の力で道を切り拓く経験を積ませたいと考えています。また、私たち職員も同様で、自分自身が一步踏み出して向上心を持ってこの仕事と向き合っていく姿を子ども達に見せたいと思っています。

臨海学習に向けて意気込みを書くにあたって、こんな思いに駆られ、この行事が子ども達の自立や成長につながるものであって欲しいという願いが込められている事を思い出しました。臨海学習のルーツは「夢中になって遊ぶ事」が始まりですが、今年は「夢中」という事だけでなく、恐れずに踏み出す勇気を育む意味を込めて「勇敢」という事をテーマに加えました。3回目ともなると初回に比べればやや新鮮味もなくなってきている雰囲気がある中で、新しい楽しみや希望を見出す事が私たちの腕の見せ所です!そういう気持ちが「勇敢さ」ですよね。子ども達にも是非「勇敢さ」を発揮してほしいです。ただし、「勇敢さ」を「無謀」とはき違えない事だけは強く心して、子ども達、職員の一一致団結の元、絶対に事故なくケガ無く、最高の臨海学習にする事を目標にして行ってきたいと思っています。

来月は子ども達の臨海学習での沢山のいい姿をご報告できると思いますので、楽しみにしてお待ちください。

(中2・S君)

### 臨海学習に向けて

あおぞらホーム A・Y

毎年恒例となってきた臨海学習が今年も迫ってきました。今年は7月15日海の日に新潟県は鯨波海水浴場へ行ってきました。この時期になると子どもたちもとても楽しみにしていて、去年は大きい魚を逃がしてしまったから今年は絶対に採るんだと意気込んでいたり、海に入るのが怖かったから泳げるようになりたいなど様々な声が聞こえ始めています。今年は子どもたちと去年以上にたくさん生き物を捕まえて、捕まえた生き物を園で飼育できるようにしていきたいです。海で遊ぶことはとても危険が伴うので安全にも十分留意しながら楽しむことができれば良いと思います。



### 海行事に向けて あおぞら児童

ことしの海ぎょうじのもくひょうは、さかなとかいろいろつかまえます。海でふかいところに行ってさかなとかをつかまえます。海でおよいだことがないので海でおよいでみたいです。うみで、でっかいいかとかつかまえてみたいです。海で10びょうおよぎたいです。海にいて岩のところをのぼってカニもつかまえてみたいです。海でいっぱい遊びたいです。海でさかなを15ひきつかまえます。貝がらもいっぱい見つけたいです。海にいてふかいところがあるからそこにはいかないように気をつける。海で長い時間およいだり、さかなをつかまえたり、いろいろなことをしたいです。海でおおものをいっぱいつかまえます。10びきおおものをつかまえて、5匹ぐらいはちょっと小さなさかなをつかまえます。海でつかまえたことのないものをいっぱいつかまえてみたいです。じこけがなく楽しく行ってきたいです。

(小3・A君)

僕は、今年で3回目の臨海学習になります。1回目は、泳ぐのに必死で生き物をなかなかつかまえることができませんでした。2回目は、カニを沢山捕まえることができましたが、大きい魚をつかまえたけど逃げられてしまいました。今年は、大きい魚をつかまえたり、そのほかの生き物も沢山つかまえます。あと、海はとても危険なので気をつけながら楽しみたいです。

今年3回目の臨海学習をやることになりました。海に行くにあたって、ただ海の魚を獲るのではなく、事前に目標を立てて、行きたいと思います。

まず去年とは違う方法で獲れたらいいなと思います。理由は魚にねらいが定まらず、網で取る前に逃げられてしまったからです。なので今年は正確に獲れるように、魚の動きを読むなど、網を上手に使っていきたくです。こうした目標などを決めて改善点を深められたらいいと思います。

また、臨海学習に行って「楽しかった」「また行きたいな」と思えるような行事にしていきたいです。学んだことや、次にこうしたいことなどを来年つなげられたらいいです。今年はこの目標で行けたらいいです。「excited!!」

(中3・K君)

### 海行事に向けて まごころ児童

7月15日に新潟県にある鯨波に行きます。去年は波が高くて生き物をつかまえることができず、選抜メンバーによる第二弾がおこなわれました。第二弾では、魚を少しでも取ることができたので、今年もかにやアメフラシや魚たちをたくさん捕まえて、一年以上生きてもらえるようにしたいです。

海行事までの間も日課に沿って生活をしていきたいです。今年で3回目の海行事、とても楽しみです。今年も海行事を考えてくれてありがとうございます。

(高1 Mさん)

去年は一匹も魚などが取れなかったのが、今年はおアメフラシを取れるように頑張りたいです。あと、キレイな貝がらも取れるように頑張りたいです。去年よりも波が荒くないことを願います。

(高1 Tさん)

7月15日に海行事があります。今年も行けて嬉しいです。去年は波が荒くて一回目は魚をつかまえることができなかったのが、今年たくさんつかまえられるといいなと思います。安全に楽しみたいです。



(高2 Uさん)

7月15日に今年も海に行きます。今回も、とても楽しみです。今年こそは大きな魚をとりたいです。また、カニを見つけないです。そして、溺れることなく安全に泳ぎたいです。楽しく頑張ります。

(高2 Rさん)

### ホーム食 あおぞら

あおぞらホーム S・S

今回のホーム食は、中華バイキングをやりました。バイキングという事で、麻婆豆腐、青椒肉絲、回鍋肉、杏仁豆腐の4つの班に分け、かつ、いつもであれば手間のかかる所から始めたりしていましたが、自立したときに実は中華も簡単に作れるという事を知ってもらえるように、市販の合わせ調味料などを使って作りしました。私の班では、小学生と杏仁豆腐を作りしました。粉寒天を溶いたものを冷蔵庫で固め、固まったらカットしたフルーツを盛り付けるという工程です。粉寒天は固まるまでに時間がかかるので、前日に中高生と仕込みをし、当日小学生と盛り付けをしました。みんな率先して「フルーツを切りたい」と包丁を使うのにチャレンジしていました。特に小5Y君はメロンやリンゴなど大きく切るのも難しいものを切りたいがっており、果敢に挑戦してくれました。小3H君は、切りたい気持ちはあるもののなかなか自分の思い通りにならないからか、不安な様子を見せていましたが、みんなが喜ぶいちごを半分にカットする作業をお願いすると、嬉しそうに切っていました。盛り付けの見本はK先生にお願いし、K君、Y君、A君が見本と大差がないようにきれいに盛り付けてくれました。



切って盛り付けるだけの作業だったので、1番最初に終わるかと思いきや、中高生の班は小学生の班よりもだいぶ早く仕上がっており、いただきますも、今までのホーム食の中で一番早く行いました。中高生の手際はとても良かったようで、またお肉や野菜も丁度食べごろのサイズにき

れいに切れており、多くの子から好評でした。量も多くし、10皿用意し、お米も2升炊いたとの事でしたが、すぐにみんなおかわりし、あっという間に完食しました。杏仁豆腐もおかわり用に用意していましたが、全て食べてもらい嬉しかったです。ホーム食をやってみて、みんな男子ではありますが、食を作ることにみんな興味、関心を持っていることを改めて感じました。また、いつもは自分だけのものを作ることが多かったのですが、他の人も食べるという所で、いつも以上の力が出せているのかと思いました。また、次のホーム食もみんなでおいしい食事を作れたらと思います。

### ホーム食 まごころ

まごころホーム T・M

今回のホーム食はカレーパン、あんぱんまんパン、メロンソーダゼリー、カップサラダを作りしました。パンは生地や具を作る所から始めました。主に中高生が担当していましたが、幼児さんも生地をこねる所は一緒にやりました。あんぱんまんパンの顔の部分は生地を丸めてくっつけて作りしました。作る人によって少しずつ顔が違って、とてもかわい



いパンができました。メロンソーダゼリーは小学生が作りしました。ゼラチンとサイダー、メロンシロップをかき混ぜて、プラスチックコップの中に流しました。こぼれないようにコップに入れるのは少し難しかったですが、上手に入れることができました。かき氷のシロップを使ったのでとても色鮮やかで綺麗なゼリーになりました。最後にみんなで作ったものを食べました。カレーパンは中のカレーを上手く包むことができ、カリカリに揚がっていて美味しかったです。あんぱんまんパンはジャムをつけて食べました。もちもちとした食感で食べ応えがありました。メロンソーダゼリーは炭酸が残っていて美味しかったです。それぞれ感想を話しながら食べていて、とても楽しそうでした。

### 父の日の会

まごころホーム T・S

6月16日に「父の日の会」を行いました。プレゼントをどんなものにしようか考え、私はあおぞらの中高生男子たちと「レジキョーホルダー」を作りしました。ただ、普段あまり関わりの無

い男の子たちがこの作業をできるのかなと心配と緊張がありましたが、やり始めるとみんなとても丁寧に作業をしてくれて気づけばリラックスしながら楽しく作ることができました。中でも印象的だったのは中2のNさんとRさん、高1のKさんです。Nさんにキーホルダーに小さなアルファベットのシールを貼る作業をお願いすると「できました！」と渡してきたのですが、シールが曲がっていたので「ここ直した方がいいかも」と伝えると、素直に「わかりました」と言い、その後一生懸命背中を丸めてずれないように貼り直してくれました。「プレゼントですもんね」と呟っていたのも気持ちが感じられて嬉しかったです。また、RさんとKさんは「作業やりたいです」ととても前向きに手伝ってくれて、丁寧にしかも手際よく作ってくれました。疲れたかなと思って「やめてもいいよ」と声かけても「いや大丈夫です」と最後までやってくれました。この3人以外もみんな一生懸命やってくれたのでとても良いものができたのではないかと思います。作業の様子から、子どもたちのいろんな良いところを見ることができてとても楽しかったです。小学生やまごころの中高生もみんな協力してくれたおかげで心のこもったプレゼントを用意できました。当日も先生方に喜んでもらえて良かったです。

## 父の日の会

あおぞらホーム Y・S



6月16日に父の日の会がありました。毎年恒例でいつも楽しく参加させてもらっています。父の日の会に至るまで子どもたちとまごころの先生方とで男性職員には内緒でこっそりと準備をしてくれます。今年はハーバリウムとチーズケーキ、キーホルダーをもらいました。どれもとても良く出来ており、クオリティが高く素晴らしい出来栄のプレゼントを頂き気持ちがこもっているのが伝わってきました。メッセージカードも毎年どんなメッセージをもらえ

るか楽しみにしています。あおぞらの子はほとんどの子が活動に関するもので「釣りや工作など色々な活動を考えてくれてありがとう」という内容が多く、まごころの子は「母の日の会の準備の時に関わったこと、気軽に声をかけてくれてうれしい」と言った内容が多かったです。活動に関しては日々色々なネタやアイデアを考えながら過ごしているので子どもたちからのメッセージに「色々やったかいがあったな」と嬉しく思っています。

色々準備して下さった先生方や子どもたち、本当にありがとうございました。

## 部活動大会

あおぞらホーム F・K

6月から今年の中学校総合体育大会の予選が始まりました。3年生のKさんはサッカー部として6月8日、9日の大会に出場しました。Kさんは3年間サッカー部として活動してきて、中学3年生の今年は最後の年となり引退のかかった大会となったため、大会への思いは昨年よりも強いものが見られました。しかし、大会の1週間ほど前から体調を崩してしまい、2日ほど前からやっと練習に復帰することができましたが、本調子ではない様子もありとても心配していましたが、無事大会には出場することができ、力の限りプレーすることができていました。

大会の結果としては、残念ながら予選敗退となってしまいKさんは部活動を引退するという形になってしまいましたが、サッカーの技術としての成長はもちろんの事、チームメイトと一緒に努力した事や3年間継続して力を入れていたものがあるという経験はKさんの成長にとって大きな糧となったのではないかと思います。私もそんなKさんの成長する姿を見ることができとても嬉しく思います。Kさんが3年間で培ったサッカー部での経験を今後の人生でも活かせることができればと思います。Kさん3年間おつかれさまでした。

## あおぞらホームだより

あおぞらホーム A.K

暑い日が続く中ですが、子どもたちはみんな元気に過ごしています。6月には父の日の会や、ホーム食など子どもたちが自分たちでモノを作る、料理をすることをメインとした行事が多くありました。子どもたちが職員に「どうすればいいの？」など質問しながらも、頑張って取り組んでいる姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

もうすぐ夏休みも始まり、行事が増えてくる時期に差し掛かります。暑さに気をつけながらも元気いっぱい過ごしてくれたら、と思います。

また、7月には子どもたちも、職員も楽しみにしている、海行事があります。今年で3回目になりますが、児童・職員ともに怪我などせず、元気に行ってきたいと思います。

## まごころホームだより

まごころホーム N・R

梅雨に入り毎日あいにくな天気ですが、まごころホームの子どもたちは、毎日元気に幼稚園や学校に通っています。

小学生は、社会見学や高原学校があり、普段の生活では味わえないような体験ができたのではないかと思います。楽しそうに話をしてくれる姿が印象的でした。中高生は、期末テストがあり、中間テストよりも良い点数をとろうと勉強を頑張っている姿がありました。前回よりも点数

が高くなったと言ってきてくれる子もいて、私自身も嬉しかったです。

7月には今年2回目の行事があります。子どもたちが普段の生活をしっかりとこなして、行事を楽しめるように協力して取り組んでいきたいです。

#### 調理室だより

調理主任 M・M

いよいよ本格的な暑さがやってきました。

調理にとって食中毒には最も気をつけていかなければならない季節となりました。

調理員全員で気を引き締め、子供達の為の食事を作って行こうと思います。

今月の虫歯予防メニュー・月遅れ節句メニューは、ホームの先生からのご要望もあり、毎年同じ様なメニューなので少しアレンジしてみました。

少しでもみんなが喜んでくれる事を願いながら作らせて頂きました。

#### 4日：虫歯予防メニュー

・海鮮天井・カミカミサラダ・すまし汁・きゅうりの浅漬け

#### 5日：月遅れ節句メニュー

・ワンプレート（ハンバーグ・フライドポテト・人参グラッセ・コーンバター・

ほうれん草のソテー）

・コーンクリームスープ・野菜サラダ・イチゴババロア

※おやつに柏餅

#### 9日：N君誕生日メニュー

・冷やし中華・唐揚げ・ポテトサラダ・チョコバナナパフェ

#### 16日：父の日メニュー

・スタミナ丼・さけチーサラダ・きゅうりのみそマヨ・味噌汁・スイカ

#### 19日：通明小懇談会（12名の先生方に夕食を食べて頂きました）

・卵とじカツ丼・春雨サラダ・漬物・あおさの味噌汁・プリン

#### 22日：ホーム食

・あおぞらホーム ※中華バイキング形式

・麻婆豆腐・チンジャオロース・ホイコーロー・フルーツ杏仁

・まごころホーム ・カレーパン・アンパンマンパン・カップサラダ・

クリームソーダゼリー

#### 29日：K君誕生日メニュー

・たらこスパゲッティー・カリカリポテト・チョレギサラダ・イチゴシェイク

